ホール関係5団体代表者会議

ホール関係5団体代表者会議が6月10日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開かれた。会議には日遊協会、金本朝樹代表理事、中村明宏会長の代理として出席した5団体の代表者ら約20名が出席した。

ホール関係5団体代表者会議は、ホール関係5団体が協力して、日遊協会の運営や活動などを推進する機関である。会議では、日遊協会の今後の活動計画や、協力のための協定を締結するなど、協力のさらなる強化についての議論が行われた。

日遊協会は、全国のホール関係団体を結び、ホールを活用した文化活動の推進に努めている団体である。会議では、日遊協会の今後の活動計画や、協力のための協定を締結するなど、協力のさらなる強化についての議論が行われた。

ホール関係5団体代表者会議では、ホールの運営や、協力のための協定を締結するなど、協力のさらなる強化についての議論が行われた。
新しい微課管理システムについて協議したセキュリティー対策委員会

セキュリティー対策委員会

機歴日工組の新システム順調

第71回セキュリティー対策委員会で開かれた、PSIの新システム開発についての報告がなされた。このシステムは、過去の情報を効率的に管理するためのもので、システムの構築を進めている。システムの構築は、既存のシステムと連携して行われており、システムの導入が徐々に進行している。

6業者が新規登録

6業者に新規登録が行われた。新規登録された業者は、セキュリティ対策のための最新の技術を導入している。これにより、セキュリティ対策のレベルを向上させることができる。

21世紀会が協力体制

パチスロ業界21世紀会が、協力体制を構築することを決定した。協力体制は、業界全体のセキュリティ対策を強化するためのものであり、協力体制の構築が進められている。
総会

全日本遊技事業協同組合通常総会

【遊べる環境を整備・推進】

青松理事長があいさつ

全日本遊技団体が集結、遊べる環境整備を

【理事長報告】

総会の目的を達成するために必要な活動を

【理事会の報告】

理事会の活動内容と来年への計画を

【決算報告】

決算報告書の詳細を報告

【新会員の紹介】

新会員の説明と加入の誘い

【Q&A】

質疑応答で意見交換

【閉会】

総会が終了し、次の総会に向けて

【写真】

参加者らがパネルディスカッションに

【表彰式】

優秀会員や貢献者の表彰が行われ

【懇親会】

参加者全員で交流する懇親会が開催

【次回総会】

来年度の総会が来年に開催決定
バチンコのジリ貧傾向は変わらず
全日通運は6月25日、店舗数、遊技機台数の2013年5月分を発表した。店舗数は前月比で24店も減り、前月は現状維持したのとは無かった。今年に入ってから、このような動きは3000台を超え、1万6000台の店舗数が昨年5月（1万2500店）と比べ、1万3000台を上回り、190店マニックスとなり減少傾向が著しいレベルの中ままだ。

遊技機数では、バチンコが前年1年間でマニックス5万3358台（昨年5月283万5776台）と大きく続け、一方バチンコ店舗は前年5万898台（昨年5月13万961台）と上昇している。バチンコ店舗は、今月も昨年4月から22か月連続で前月比増を続けている。＜注＞店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在数。表中の「その他」はアレシポール、ジャンク、スマートポールを意味する。